

2019年6月24日

あおぞら投信株式会社

## 「年金の 姿を見ずに 受け取らず 市民のための サービスいずこ」

いきなり「平均で2000万円足りない」ということよりも前に、そもそも自分の人生設計を考えることがもっとも大切である、ということから伝えるべきなのではないでしょうか。その前提として公的年金制度の給付が支えとして存在しているのであって、その制度自体に改革が必要であることもまた真実なのであり、我々は説明を受ける権利があるので。ではそもそも年金制度はどのようになっているのでしょうか。

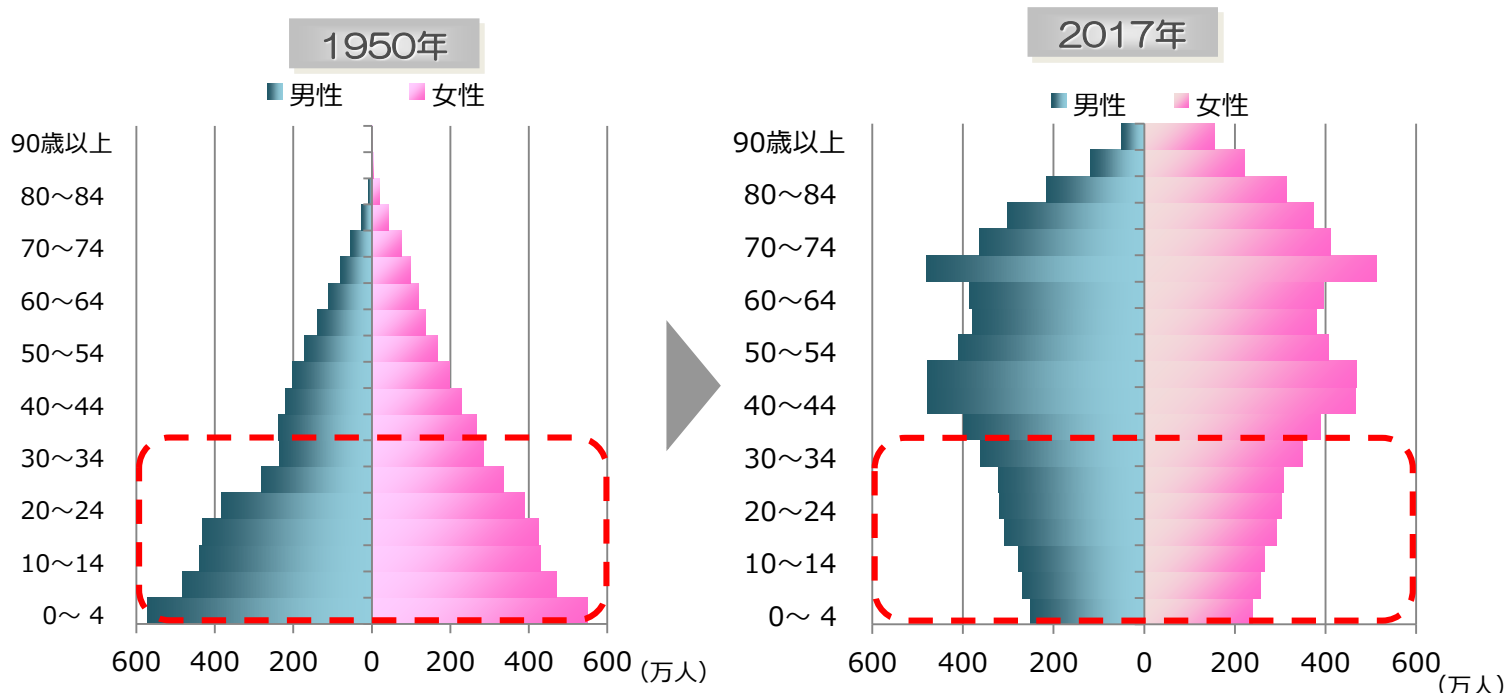
年金の給付種類は以下の3つがあります。①老齢給付：一定の年齢に達した場合に給付されるもの、②障害給付：被保険者に障害が発生した場合に給付されるもの、③遺族給付：被保険者が死亡した場合の遺族に給付されるものです。老齢給付について、国民年金法が施行され、いわゆる「国民皆年金」制度がスタートした1961年は55歳\*からの支給となっていました。当時の平均寿命が男性66.0歳、女性70.8歳だったわけで当然に現在の状況とは異なります。そして、公的年金については5年ごとに年金財政検証が行われて、所得代替率(夫婦2人の年金額が現役世代の手取り収入に対して50%を下回らないか)のチェックにより、給付減額や保険料率の引き上げなどが行われます。このように公的年金は老後生活の基礎的な部分を支えてくれますが、例えば現役時代と同じ水準の出費が見込まれるのであればそれをカバーするなど、それぞれの生活レベルによって、自らの資産形成が必要であることは明らかなのです。大切なことは、人生を豊かに生きるためには準備が必要であることを認識し、お金の話を家族間で出来るような環境作りにあると考えます。

\* 厚生年金：男性の支給開始年齢は55歳から60歳への移行期、女性は55歳。

国民年金：支給開始年齢は男女共に60歳。

柳谷俊郎

### 日本の人口構成の変化



出所：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2019）」のデータおよび各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>